



▼住宅と工業地が入り交じる校区
和光小学校は和光町、駒場町、住吉町といった古くからの住宅地と、黄金地区の新興住宅地、そして恵南、戸磯地区の工場地帯が入り交じる大きな校区です。児童数も多く、恵庭小のように、交通指導員さんが二人で指導にあたる体制が組まれています。

今月は和光小学校担当の指導員さんをご紹介します。
(取材 親記者 三上美香)

交通指導員さん
こんにちは!
8

小学生の登下校を見守る交通指導員さんにスポットをあて、子どもたちを守るお仕事を紹介するとともに、その地域のヒヤリポイントもお伝えしています。

▼和光小学校担当の佐久間一恵さんにお話を聞きました。
ご自身も小中学生のお子さんをお持ちの佐久間さんは、和光小の児童にもわが子のように接するきびきびとした指導員さん。交通ルールからはず

以前に登場された長谷川さんは黄金地区担当、今回紹介の佐久間さんは和光町や駒場町などの担当です。
国道36号線と道道46号線があり、大半の児童はどちらかの大きな道路をわたることになります。また、工場が立ち並び道路を通る児童は大型車両にも気をつけなければなりません。

れそうな児童を見つけると、遠くからでも大声で注意をしていました。
Q 交通指導員の仕事を始めたのはいつですか?
A 平成22年4月からです。まだ(ピカピカの)1年生です。



Q この仕事を選んだきっかけは?
A 子どもが好きなので、3年ほど前からずっと考えていました。自分の子どもも通学時に指導員さんに助けていただいたこともあったので、思い切って受けてみました。実際に指導員になってみて、「子どもってかわいいなあ」と実感しています。

Q 指導員の仕事を始めて、ご家族はじめ周りの反響はいかがですか?
A 始めた当初は「お母さん交通安全に厳しくなったね」と言われていました。今は「お仕事楽しそうだねえ」とか「今日はどんなことしたの?」と聞いてくるようになりました。家の仕事も以前より手

伝ってくれるようになりましたよ。それと、スパーに行くとき、子どもたちが声をかけてくれるようになりました。
Q 指導員の仕事を始めて良かったと思ったりはどんなことでしょうか? 反面、大変だなあと感じたことはなにかありますか?
A 良かった点は、子どもたちに元気をもらえること。元気なあいさつを聞くと「よし! 今日がんばろう!」と思います。



前を気軽に聞けると良いのですが。
Q 和光小学校の生徒はどんな印象ですか?
A 明るくて元気がいいですね。礼儀正しいし、人懐っこい。困っている下級生のめんどうを見る、優しい上級生もたくさんいますよ。
Q 和光小校区内にヒヤリポイントはありますか?
A 恵南地区の工場近くの道路付近でしょうか。ゆるやかなカーブがあり、けっこうスピードを出す車も通ります。また、住宅街ならではの死角も多く、不審者の出没にも注意が必要です。

登下校時には地域の方々のご協力もあり、安全への配慮もあります。放課後は人通りも少なくなるので気をつけたところですね。
◆◆◆
子どもたちのイタズラポイントはだいたい決まっています。指導後はそこを見て帰りますという佐久間さん。「最後の一人まで無事に家までついたか心配です」と言っていました。

子ども記者が行く!
白い恋人パークで お菓子作り体験!
記者:
柏小4年 小松瑞季

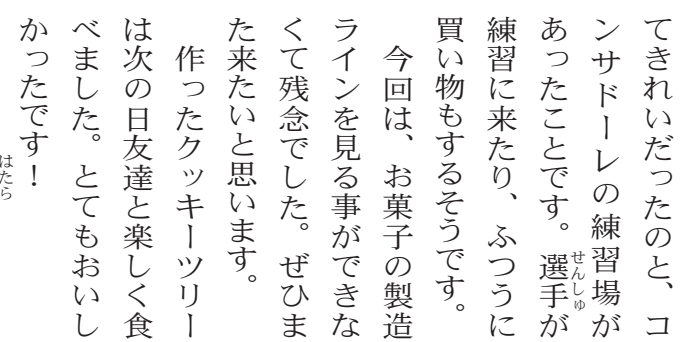


白い恋人パークは、石屋製菓の本社兼工場「チョコレートファクトリー」、中世イギリスの木造建築を再現したシヨップ兼博物館「チュダーハウス」、コンサドール札幌の練習風景が見学できる「宮の沢白い恋人サッカー場」「コンサドール札幌コレクションハウス」が集まったアミューズメントパークです。平日は500人、休日だと3000人もの入園者があるそうです。

体験の後は石屋製菓の上出さんにお話を聞きました。
①この建物はいつから? 「15年前にできました」



②一番人気の商品は? 「白い恋人です」
③ケーキの数は? 「20〜25種類くらいで、ここで製造しています」
④お願いしたら、キャラクターのデザインのケーキやアレルギーの子対応のケーキは作れますか? 「できないかもしれませんが、まずはお電話ください」
入館しておどろいたのは、お庭がとても楽しくてきれいだっただのと、コンサドールの練習場があったことです。選手が練習に来たり、ふつうに買い物もするそうです。
今回は、お菓子の製造ラインを見る事ができなくて残念でした。ぜひまた来たいと思います。
作ったクッキーラリーは次の日友達と楽しく食べました。とてもおいしかったです!
パークで働いている方たちは、みんなやさしいお姉さんばかりでした。



体験の後は石屋製菓の上出さんにお話を聞きました。
①この建物はいつから? 「15年前にできました」